

樹齢1000年の国指定天然記念物「三春滝ザクラ」、ゲノム解析プロジェクト始動 福島県三春町と国立遺伝学研究所、包括連携協定を締結

■ 概要

国立遺伝学研究所（静岡県三島市）と福島県三春町は、国指定天然記念物である「三春滝ザクラ」の学術研究および保全を目的として、三春滝ザクラのゲノム解析プロジェクトを共同で実施するための包括的連携協定の締結式を2026年4月2日（木）13時30分から三春町役場で行います。締結式には三春町から坂本浩之町長、伊藤朗副町長ほか同町関係者、国立遺伝学研究所から近藤滋所長、小出剛准教授、川本祥子准教授らが参加する予定です。また、本プロジェクトは三春町と国立遺伝学研究所に加え、同町が別途連携する福島大学、応用地質株式会社が参加して実施します。本プロジェクトでは、樹齢1000年を超えるとされる三春滝ザクラのゲノム（全遺伝情報）を解読し、その遺伝的特徴や起源を明らかにするとともに、将来的な桜の保全や文化的価値の継承に資する科学的基盤を構築することを目指します。



写真：福島県三春町の「三春滝ザクラ」。樹齢1000年とされる大木で、開花の季節は町のシンボルとして地域の人々や桜ファンの目を楽しませている（写真提供：同町）

■ 背景

三春滝ザクラは福島県三春町にあるエドヒガン系の枝垂れ桜で、日本を代表する桜の名木として広く知られています。樹齢は1000年を超えるとされ、当時は人為的な桜の交配が現在ほど進んでいなかったと考えられるため、滝ザクラのゲノムには同時代の桜の遺伝的特徴を伝える重要な情報が含まれている可能性があります。

このため滝ザクラのゲノムを解読し学術データとして保存することは、文化的・学術的に大きな意義があります。

■ 研究の概要

本研究では、三春滝ザクラの若葉を採取し、最新のゲノム解析技術を用いて全ゲノムの完全解読を行います。具体的には、以下の解析を実施する予定です。

- ・三春滝ザクラの若葉を採取し、ゲノム DNA を抽出
- ・長鎖シーケンス技術を用いた完全ゲノム解読
- ・完全ゲノム解読で明らかになったデータに基づいたゲノム情報解析

■ 期待される成果

本研究によって、以下のような成果が期待されます。

- ・三春滝ザクラの完全ゲノム情報の解明
- ・枝垂れ桜の形質(枝が垂れる性質)に関わる遺伝子の探索
- ・ゲノム情報に基づいた桜の保全や後継樹の選定

また、滝ザクラの遺伝情報を国際的な学術データベースに登録することで、世界的にも貴重な古木のゲノム情報として永続的に保存されます。

■ これまでの研究実績

国立遺伝学研究所は、国の特別天然記念物である伊豆大島のオオシマザクラの完全ゲノム解読、エドヒガン古木のゲノム解析など、桜のゲノム研究を進めてきました。本プロジェクトはそれら研究成果を基に実施します。

■ 問い合わせ先

<研究に関すること>

- 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 マウス開発研究室
准教授 小出 剛 (こいで・つよし)

E-mail: tkoide@nig.ac.jp

<報道担当>

- 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 広報室

E-mail: prkoho@nig.ac.jp

- 福島県三春町教育委員会 生涯学習課

E-mail: gakushu@town.miharu.lg.jp

配付先

文部科学記者会、科学記者会、郡山記者クラブ、三島記者クラブ